

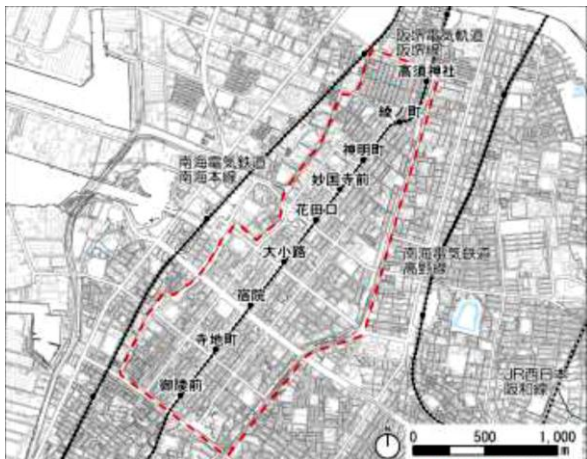
大道筋緑化事業

～紀州街道沿道の景観づくりに資する阪堺線沿線の植樹帯の改善～

○事業の概要

旧紀州街道にあたる大道筋は、古くから栄えた堺を南北に走る約 2.5 km の幹線道路であり、付近には、山口家住宅や伝千利休屋敷跡などの歴史的資産があります。

また、道路幅員約 50m の中心には阪堺線の軌道敷があり、その軌道敷と車道部の間に植樹帯を設け、片側に樹木の植栽、反対側に花壇の組み合わせで交互に設置していますが、花壇の維持管理や緑のまちなみ景観の形成に課題があることから、紀州街道沿道の景観づくりとして、軌道敷横の植栽帯の改善を図ります。



○平成 26 年度の予定

改善のために植栽帯の設計を行います。

○設計方針

阪堺線の御陵前から綾ノ町までの延長約 1.9km（面積約 2,850 m²）の花壇を電停や交差点付近に集約し、より修景効果の高い花壇に改善します。また、その他の箇所については、低木の植栽帯に改善し、年間を通して緑を保つことで景観の向上を図ります。